

# 法律時報

The Horitsu Jiho

11

月号 NOVEMBER/2016 VOL.88 No.12/1105

## CONTENTS

[法律時評]

「共謀罪」と「組織犯罪準備罪」……松宮孝明 1

### ■特集

## 消費者契約法の改正

2016年消費者契約法改正の概要と課題……山本敬三 4

[締結過程の規制]

「勧誘」要件のあり方・第三者による不当勧誘……鹿野菜穂子 16

不利益事実の不告知と重要事項……山本 豊 23

困惑類型の追加・不招請勧誘……後藤巻則 31

合理的な判断をすることができない事情を利用した契約の締結……宮下修一 37

取消権の行使期間・取消しの効果……松本恒雄 44

[不当条項規制]

現行規定(8条・9条)の見直し……原田昌和 50

不当条項リストの追加・10条の見直し

——2016年消費者契約法改正が残した課題……大澤 彩 57

条項使用者不利の原則・その他の論点……河上正二 65

●論説

裁判所による法治主義・地方自治の破壊

——辺野古訴訟高裁判決の問題点と上告審の課題……岡田正則 106

取締役の監視義務と割合的責任について……増田友樹 112

■小特集

# 内閣法制局と最高裁判所——近年の「変化」をどうとらえるか

企画趣旨……佐藤岩夫 73

内閣法制局の現在——「黒子」が政治化するまでの軌跡……西川伸一 74

最高裁判所の現在——違憲審査制と少数意見制の活性化の背景と特徴……見平 典 80

内閣法制局と最高裁判所の現在——「統治=執政」の法的統制のゆくえ……佐藤岩夫 87

内閣法制局と最高裁判所——憲法研究者からのコメント……毛利 透 93

行政法学からみた「内閣法制局と最高裁判所」……中川丈久 97

●連載

## 憲法学からみた最高裁判所裁判官·19

周辺においやられた者の声に耳を傾けた長官——島田仁郎……巻 美矢紀 119

## 「国家と法」の主要問題 Le Salon de théorie constitutionnelle·17

多元主義法理論の共時性と通時性

——サンティ・ロマーノの「制度」概念と憲法秩序の変動……江原勝行 125

## 民法理論の対話と創造·4-2

財貨帰属と代位法理(下)……水津太郎 131

【B & Aレビュー】

和田 肇『労働法の復権——雇用の危機に抗して』……野田 進 137

坂下陽輔「正当防衛権の制限に関する批判的考察(一)~(五)・完」●刑法学の動き……玄 守道 141

【EU法判例研究】

欧洲委員会の提案撤回権……中西優美子 147

【民事判例研究】

監護親に対し非監護親が子と面会交流をすることを許さなければならないと命ずる審判に基づき間接強制決定をことができる場合……二宮周平 151

【刑事訴訟法判例研究】

憲法37条1項の保障する「公平な裁判所の裁判」を受ける権利と区分審理制度……関口和徳 155

【労働判例研究】

セクシュアル・ハラスメントに関わる懲戒処分の有効性——海遊館事件……大木正俊 159

【史料の窓】

足尾鉱毒事件の請願書と鉄道利用の提言……福井 淳 扉

新法令解説……163 文献月報・判例評証……167 メモランダム……189